

松江北道路説明会〔H30.7～ルート案提示〕 意見・質問とその回答状況（とりまとめ）

意見・質問		回答
■ ルート案について		
1	今回示した松江北道路のルート案と境港出雲道路はどこかで一本になるのか。境港出雲道路の計画を踏まえた道路計画となっているのか。	松江北道路は、境港出雲道路の一部ということで計画しています。今後の計画としては、松江北道路の完成後、交通状況などを踏まえ検討していきたいと考えています。
2	このルート案にした理由は何か。	地域の皆様からいただいたご意見や公共事業として配慮すべき点などを踏まえ、ルートと道路構造形式の基本方針を定め、利便性・安全性・経済性等を総合的に勘案し、ルート選定を行いました。
3	このルート案を今後変更することがあるか。変更できないか。このルート案で決定であるか。	ルートと道路構造形式の基本方針に基づき、利便性・安全性・経済性等を総合的に考え、ルートを計画しています。このルート案でお願いしたいと考えています。
4	今回示した図面の道路計画幅で決定であるか。	まだ現地測量等を行っていない段階であり、機能回復道路等も計画に入れていないことから決定の道路計画幅ではありません。
5	松江北道路は高速道路ではないのか。自動車専用道路ではないのか。	一般道路として計画しています。ただし、道路利用者の安全性を考慮し、歩行者や自転車等については通行を規制する方向で調整を行っています。
6	原子力災害に備えた避難路であるのか。	災害時の避難路としても機能すると考えています。
7	家屋に影響のある道路計画は賛成できない。	地域の皆様からいただいたご意見や公共事業として配慮すべき点などを踏まえ、ルートと道路構造形式の基本方針を定め、利便性・安全性・経済性等を総合的に勘案し、ルート選定を行いましたが、やむを得ず影響する家屋が生じています。
8	乗り降り箇所ができ、利便性が高まることから今後のまちづくりと一緒に考えていくことも必要ではないか。	松江市と協議し、地域の皆様と一緒に考えていきたいと考えています。
9	立ち退きがある場合、代替地を用意するのか。	代替地については、ご希望や条件を聞きながら、市と連携して、できる限り協力していきたいと考えています。
10	高架構造の下の土地も買収することになるのか。	そのとおりです。
■ 道路構造について		
1	現在の計画では2車線であるが、将来的には4車線になるのか。	2車線（片側1車線）の完成形として計画しています。
2	松江だんだん道路や川津の国道431号が4車線（計画）なのに、松江北道路は4車線ではないのか。	将来交通量を推計し、交通量に見合った2車線道路として計画しています。
3	トンネルの路肩が狭く、歩行者や自転車の通行が危険ではないか。	歩行者、自転車等の通行を規制する方向で調整を行っています。
4	側道を計画するのか。	機能回復道路が必要な箇所に計画していく予定です。今後、地域の皆様と相談しながら検討していきたいと考えています。
5	中央分離帯が必要ではないか。	自動車専用道路ではなく一般道路として計画していることから、中央分離帯は設置しない計画としています。併せて、緊急時には緊急車両がスムーズに追い越せるよう設置しない計画としています。
6	道路排水はどのようになるのか。排水が新たに地区へ流れることがないようにしてもらいたい。	事業着手後の詳細設計の段階において、検討していきたいと考えています。
【盛土構造、高架構造に関すること】		
7	道路（盛土構造、高架構造）の高さはどのくらいになるか。	現地の地形等によって変わりますが、高さは7m程度になる見込みです。
8	道路高さを7mにする理由は。	交差する道路において、大型車両が通行できる高さを確保すると、本道路の高さは概ね7mとなります。
9	どのような場所を高架構造にしているのか。	河川、道路及び鉄道を横架する箇所、市街化が進行している箇所、細い谷を盛土構造にすることで災害等の懸念があると考えられる箇所については、高架構造としています。
10	盛土構造ではなくすべて高架構造にできないのか。経済性を考えて盛土ということが納得できない。水害や景観（見通しなど）等に対して悪影響が出てくる。	経済性や今後の維持管理を踏まえると難しいと考えています。水害や景観等に対しても継続して検討していきたいと考えています。

11	これまでの意見交換会でも地域分断を懸念して盛土構造ではなく、高架構造でお願いしてきた。意見が反映されていない。	高架構造にすると費用が著しく高くなります。 経済性や今後の維持管理を踏まえ、平地部は盛土構造を基本としています。 地域分断の懸念に対しては、今後、地域の皆様と相談させていただきながら、機能回復道路などの整備を検討していきたいと考えています。
12	盛土法面の除草管理はどのようになるのか。	走行時の視距確保が必要な場合に、道路管理者である島根県が実施する予定です。
【乗り降り箇所に関する事】		
13	立体交差点の大きさはどの程度になるのか。	現地の地形によって変わりますが、道路幅は全体でおよそ50m、高さは7m程度になる見込みです。現在供用中の松江だんだん道路の西尾インターチェンジと似た形状を計画しています。
14	乗り降り箇所について、立体交差と平面交差の計画をどのような考えで分けているのか。	基本的には平面交差で考えています。 交通量が多く、立体交差でないと交通処理ができないと見込まれる川津乗り降り箇所を立体交差としています。また、西生馬と西持田の乗り降り箇所は、延長が長くトンネルもある区間の両端に設置することから、自転車などの誤進入防止を図るため、立体交差で計画しています。
15	県道講武古江線との交差点に乗り降り箇所がないのはなぜか。	松江北道路のサービス速度概ね60km/hを確保するため、交差点を集約する必要があったためです。
16	平面交差予定箇所を立体交差にしてもらいたい。 交差する道路の交通量が多い乗り降り箇所は、立体交差が良いのではないか。	すべての乗り降り箇所を立体交差にすることは経済性も踏まえ、難しいと考えています。その中で、交通量が多く、立体交差でないと交通処理ができないと見込まれる川津乗り降り箇所を立体交差としています。また、西生馬と西持田の乗り降り箇所は、延長が長くトンネルもある区間の両端に設置することから、自転車などの誤進入防止を図るため、立体交差で計画しています。 なお、立体交差の場合、交差する道路と松江北道路の連絡路（ランプ）に交差点ができることから必ずしも信号が付かないというわけではありません。このことから、交差する道路の交通に対しては、平面交差と比較して立体交差の方が不利となる場合があります。 なお、信号の設置については、公安委員会が判断します。
17	乗り降り箇所について、盛土構造ではなく高架構造にして欲しい。 盛土構造となり地域分断が懸念される。	経済性や今後の維持管理を踏まえ、盛土構造としています。 なお、乗り降り箇所を高架構造にした場合でも、本線及び連絡路（ランプ）において橋梁を支えるコンクリートの橋脚（遮蔽物）が多くできることが見込まれるため、必ずしも見通しが確保できるというわけではありません。 地域分断の懸念に対しては、今後、地域の皆さまと相談させていただきながら、機能回復道路などの整備を検討していきたいと考えています。
18	乗り降り箇所があることで弊害もあるが、将来的に乗り降り箇所があるおかげで、発展する可能性がある。	利便性は高くなると見込んでいます。
【機能回復道路に関する事】		
19	現在通行できている道路は、通行できる計画なのか。	基本的に道路機能を損なわないように機能復旧する計画です。事業着手後の詳細設計の段階において、地域の皆様と相談しながら検討していきたいと考えています。
20	生活道路として乗り降り箇所付近の道路を通行している。通れなくなると生活に支障が出る。	
【防災・防犯等に関する事】		
21	地震が起きた場合の道路構造物の耐震性は大丈夫か。	事業着手後の詳細設計の段階において、各構造物における最新の設計基準に基づき、安全な構造物を設計します。
22	道路の影響で崖崩れが発生したりしないか。十分に安全な設計をしてもらいたい。	設計に際しては、必要に応じて土質調査などを行い、安全面に留意して事業を進めていきたいと考えています。
23	緊急車両の乗り入れ口等検討してあるのか。	事業着手後の詳細設計の段階において、検討していきたいと考えています。
24	交差する道路にボックスカルバートを計画している箇所があるが、ボックスカルバート内に照明は付くのか。防犯上設置してもらいたい。	事業着手後の詳細設計の段階において、各道路管理者と相談しながら検討していきたいと考えています。
■ 環境への影響について		
1	騒音や日照など環境影響が心配である。 生態系への影響はないか。 環境影響評価では具体的にどのような調査を行っているのか。調査結果は公開しないのか。	騒音や振動なども含めた環境影響評価については、松江北道路環境影響評価検討会を発足し、各種調査を基に影響評価の検討を進めています。検討結果については、追って情報を発信していきたいと考えています。
2	騒音対策について、道路完成後に基準値を超えることもあると思う。 事前に対策はできないのか。	環境影響評価の予測の中で基準値を超えている箇所は、事前に対策を検討します。 道路完成後、実際に基準値以上の騒音が発生した場合は調査の上、対策を検討していきます。
3	工事中の騒音が心配である。	騒音などに配慮した施工計画により工事を行います。工事前等には必要に応じて説明会を実施します。
4	盛土が出来ることにより景観が悪くなると思う。	景観について、今後も継続して地域の方々の意見をお聞きしながら検討していきたいと考えています。
5	道路からゴミ等をポイ捨てされることがあると思うのでフェンスの設置を要望したい。	事業着手後の詳細設計の段階において、検討していきたいと考えています。

■ 農地への影響について		
1	周辺の農地は将来的にどのような土地利用になるのか。地域の将来を見据えて、松江北道路を計画してほしい。	乗り降り箇所ができ、地域の利便性が高くなると見込まれます。農業施策と連携して進めていきたいと考えています。
2	道路計画周辺の農道、用水路の今後の計画も考慮して欲しい。 計画がないものに対しては考慮して欲しい。	事業着手後の詳細設計段階時にも各管理者へ将来計画の有無等を確認し、調整していきたいと考えています。計画がないものに対しては難しいと考えています。
3	ルート案が農地に対して斜めになっている。平行にはできないのか。 三角は極力無くして欲しい。	ルートの基本方針に基づき、利便性・安全性・経済性等を総合的に考えルートを計画していますが、その中でやむを得ず農地を斜めに横断する箇所もあります。
4	農地が分断されてしまう。	
5	盛土構造になっているが、農地の行き来ができるようにしてほしい。不便にならないようにしてもらいたい。	事業着手後の詳細設計の段階において、地域の皆様と相談させていただきながら、機能回復道路について検討していきたいと考えています。
6	ほ場計画と調整して機能回復道路は設計するのか。	機能回復道路については、ほ場計画と調整の上、検討していきたいと考えています。
7	排水計画は検討しているのか。排水により農地へ悪影響がないようにして欲しい。	事業着手後の詳細設計の段階において、排水計画を検討していきたいと考えています。
■ 交通安全について		
1	松江北道路で事故が発生した場合の対応はどう考えているのか。 交通事故対策はどう考えているか。	事業着手後の詳細設計時に、乗り降り箇所に進入規制のための施設設置などを検討していきたいと考えています。交通安全対策についても併せて検討していきたいと考えています。
2	工事期間中は工事車両が地域内を通ると思うが、安全面に配慮してほしい。	通学路等の安全を確保して、道路の工事計画を立てていきたいと考えています。
3	交差点に信号は設置するのか。	信号の設置については、公安委員会の判断となることから、今後継続して公安委員会と協議を進めます。
4	乗り降り箇所における誤進入や通学路などの安全対策はどのように考えているか。平面交差では自転車等の誤進入があるのではないか。	誤進入対策については、交通安全施設などで注意喚起等を実施していきたいと考えています。交通安全対策は、事業着手後の詳細設計の段階において検討していきたいと考えています。
5	乗り降り箇所ができることによって、交通量が増え、住民の移動に影響が出るのではないか。交通安全対策が必要でないか。	継続して検討していきたいと考えています。 各主要な交差点等における渋滞緩和効果についても現在試算中です。
6	雪道（特に坂道）の対策は考えているのか。 雪が多い地区は、対策が必要である。	走行性・安全性を確保するため、道路の勾配が緩やかになるよう配慮しながら、道路構造令に沿った計画をします。 除雪については、除雪基準に基づいて適切な対応を行いたいと考えています。
7	だんだん道路に接続する川津ICは現在でも事故が多い。対策はしないのか。	現在は、情報掲示板や路面標示などの対策で注意喚起を実施しています。松江北道路の整備により立体交差となった場合も十分な安全対策を実施したいと考えています。
■ スケジュールについて		
1	完成はいつ頃になるのか。	事業化については、2020年代初頭を目標としています。また、道路の完成については事業着手後、少なくとも10年は要すると見込んでいます。
2	利便性向上、地域活性化に繋がるため、早期整備をお願いしたい。	早期整備を目指します。
3	開通は全部完成してからか。暫定的に供用はあるのか。	暫定供用については、事業着手後、工事計画を考える中で検討していきたいと考えています。
4	詳細な設計を行った結果に対する説明はあるのか。	事業着手後の設計段階で行いたいと考えています。
5	測量や土地買収等はいつからか。	事業着手後、測量設計等行い詳細な計画が定まれば、用地建物調査及び交渉を行うこととなります。
6	工事はどちらから施工するのか。	事業着手後の工事計画にて検討したいと考えています。
7	細かい地区、関係者にも説明し意見交換して欲しい。	土地改良区や関係事業所、関係者の方等を対象とした説明会を計画し、実施しました。
8	地権者や農業を営む人に詳しく説明しないと機能回復道路や水路復旧など問題が生じるのではないか。	機能回復道路などについては、事業着手後の詳細設計の段階において、地域の皆様と相談しながら計画していきたいと考えています。
9	次回の説明会は何を説明するのか。	今年度7月から開催している説明会で様々な意見をいただいています。説明会を踏まえ検討した結果等について報告したいと考えています。
10	次回説明会は、関係する地区だけを集め実施すべき。	次回説明会の開催単位などについては、公民館などと相談して考えていきたいと考えています。

■ 事業の必要性について		
1	<p>松江北道路はなぜ必要なのか。 既存の道路の修繕など必要な事業が他にあるのではないか。</p>	<p>松江北道路につきましては、松江市内の渋滞緩和、山陰道へのアクセス性向上、災害時の迂回路機能を有する道路として大きな役割があると考えています。</p>
2	<p>今後、車の運転者が減っていくと考えているが、この道路が必要であるのか。</p>	<p>将来の人口減少などを見込んで将来交通量の予測を行っています。松江市においては車による移動が多く、交通量は人口減少と比較して極端に減らないと予測しています。</p>
3	<p>だんだん道路が渋滞している。だんだん道路の4車線化が先ではないのか。</p>	<p>まずは、松江市内道路ネットワークの課題解決のために松江北道路が必要であると考えています。 その後の交通状況を踏まえ、だんだん道路の4車線化を検討したいと考えています。</p>
4	<p>松江北道路ができることによって、利便性が高くなり渋滞も緩和されると考えるので、賛成である。渋滞緩和効果など、機会があれば示して欲しい。</p>	<p>早期整備を目指します。 各主要な交差点等における渋滞緩和効果については現在試算中です。</p>
■ 配布資料について		
1	<p>配布資料が詳細なものではない。</p>	<p>道路計画に関係する方への影響も踏まえ、詳細な道路計画を示したものは載せていません。</p>
2	<p>詳細な道路計画を示した図面はホームページなどで公開されているのか。</p>	<p>なお、詳細な道路計画案を示した図面は、松江合同庁舎4階の松江県土整備事務所都市整備課にて平日（開庁日）9:00～17:00の間、どなたでも閲覧できます。</p>
■ その他		
1	<p>工事中に出た残土の処理はどうするのか。</p>	<p>搬出先について、今後継続して検討していきたいと考えています。</p>